

2010（平成22）年5月発行

中城村

見つめよう わたしたち みんなのぎかい



議会だより

題字：新垣 光栄 議員



写真：村体協主催壮年ソフトボール大会（5月2日）

目次

- | | |
|--------------|---|
| ■ 3月定例議会 | 2 |
| ■ 3月定例議会一般質問 | 4 |

第23号
平成22年 3月議会

平成22年度 第2回 3月定例会 上程一覧表 (3月8日~3月26日)

議案番号	議 案 名	可・否
議案第2号	中城村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第3号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	〃
議案第4号	中城村乳幼児医療費助成条例の一部を改正する条例について	〃
議案第5号	平成21年度中城村一般会計補正予算(第9号)について	〃
議案第6号	平成21年度中城村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	〃
議案第7号	平成21年度中城村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	〃
議案第8号	平成21年度中城村老人保健特別会計補正予算(第2号)について	〃
議案第9号	平成21年度中城村土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)について	〃
議案第10号	平成21年度中城村公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)について	〃
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(平成21年度中城村一般会計補正予算(第8号))	承認
同意第1号	教育委員の任命について	同意
報告第1号	平成22年度沖縄県町村土地開発公社の事業計画書について	〃
陳情第3号	「保育所・児童入所施設的环境改善を求める意見書」の採択を求める陳情について	採択
陳情第7号	所得税法第56条の廃止を求める陳情書について	〃
陳情第8号	後期高齢者医療制度の即時廃止を求める陳情について	〃
陳情第12号	子宮頸ガン予防ワクチン接種の公費助成を求める陳情について	〃
選挙第1号	選挙管理委員会委員及び同補助委員の選挙について	決定
意見書第1号	所得税法第56条の廃止を求める意見書について	採択
意見書第2号	保育所・児童入所施設的环境改善を求める意見書について	〃
意見書第3号	後期高齢者医療制度の即時廃止を求める意見書について	〃
意見書第4号	子宮頸ガン予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書について	〃
意見書第5号	前期高齢者財政調整制度等の見直しを求める意見書について	〃
意見書第6号	米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還と県内移設に反対し、国外・県外移設を求める意見書について	〃
意見書第7号	日米地位協定の見直しに関する意見書について	〃
決議第1号	米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還と県内移設に反対し、国外・県外移設を求める決議について	〃
決議第2号	日米地位協定の見直しに関する決議について	〃
決議第3号	中城村議会政務調査費特別委員会設置の決議について	〃
決議第4号	閉会中の議員派遣について	〃
決議第5号	閉会中の所管事務調査について	〃

議案第11号
可決

平成22年度 中城村一般会計予算

総額

52億2,500万円

- ・前年度比 +13.4% 6億1,800万円の増。
- ・その要因として、吉の浦公園改修事業、南上原小学校（仮称）設計委託料、子ども手当等が主な要因である。

議案第12号
可決

平成22年度 中城村国民健康保険特別会計予算

総額：21億6,801万2千円 対前年度比：1,217万7千円の増額

議案第13号
可決

平成22年度 中城村後期高齢者医療特別会計予算

総額：1億27万5千円 対前年度比：679万3千円の増額

議案第14号
可決

平成22年度 中城村老人保健特別会計予算

総額：8万8千円 対前年度比：483万5千円の減額

議案第15号
可決

平成22年度 中城村土地区画整理事業特別会計予算

総額：3億31万7千円 対前年度比：1万5千円の増額

議案第16号
可決

平成22年度 中城村公共下水道事業特別会計予算

総額：3億4,232万円 対前年度比：2,646万円の増額

議案第17号
可決

平成22年度 中城村水道事業会計予算

総額：5億3,421万7千円 対前年度比：202万9千円の増額

一般質問

平成二十二年
三月定例議会

土地区画整理事業

議員 仲 座 勇



す。

都市建設課長 二十一年度予算二億円を予定、実績三億円近くでした。今年度は二億円を目標にしたいと思っています。

議員 未整備地の個々の完了計画を作成し、公開できるように準備してほしいと考えているが。

都市建設課長 未整備箇所の完成計画を作成して、できるだけ早目に地権者に公開していきたい。

議員 補助幹線道路(二路線)の外灯設置計画を伺います。

都市建設課長 平成二十三年度で中央線については歩道整備とあわせて設置予定しております。北線の整備はポイントをとらえて検討する。

南上原小学校(仮称)建設事業

議員 開校に向けて校舎、施設、学級、児童、生徒数等の計画の内容と最終決定月日を伺います。また、その後の見直し対応策を伺います。

教育総務課長 計画面積が

一万八、〇〇〇㎡、普通学級で十三学級を予定、将来的には十八学級にけるよ

うな校舎づくりに対応、体育館一、二一五㎡、プール四

〇〇㎡、グラウンド七、二〇〇㎡予定しています。補助対象が平成二三年五月一

日現在の児童数で決定されます。将来三年間は勘案することが

ができます。校舎面積が四、六九三㎡になります。

平成二五年度三二九人十二学級、二六年度は三七七人

十三学級二七年度四〇四人十四学級です。その後の対応策として二十七年以降

は児童数が増加して学級数がふえた場合は、国庫補助

が必要面積と現有面積との差については、国庫補助として

事業採択が可能になってきます。

議員 グラウンドの芝生化の考えを伺います。

教育総務課長 メリット、デメリットがあり、維持経

費等も含めて意見調整を図りながら総合的に検討を

してまいります。

※他に吉の浦公園改修事業の質問もありました。



吉の浦発電所

議員 新 垣 徳 正

議員 市街化区域編入作業の進捗状況は。

都市建設課長 市街化編入については道路整備と

地区計画が条件整備になると

思うが、それがまだ出来てないという事で、

特定保留で整備されるよう

検討中、それが整えば即編入ということで五年

待たずにできると思う。

議員 工場より派生する冷熱エネルギーの活用につ

いて電力側との協議は。

くつもりです。

企業立地・観光推進室長 電力と本村職員間で定期

連絡会を行っている。会議の中

でこれらのエネルギーにつ

いては地域振興策に利用できないか

検討、交渉中である。

教育行政

生による集団暴行事件を受け本

村の取り組みは。

教育総務課長 生徒指導体制のあり方、教育相談

の見直し、スクールカウンセラー、

教育相談委員の活用、児童生徒一人一人のSOSの

サインを見逃さないよう職員

の目配り、気配り、さらに

地域とのタイアップ、関係機

関との連携強化を図るよう再

確認と再検討を行っている

ところ。**議員** 村P連と村子連への

対しては、今後共催できる

事業については共催で行

えないか提言したところ

です。両団体長ともそれ

については検討し、進めて

いきますとの話し合いで

ございました。**議員** 学校

周辺の街灯が少ないのは、

と言う声が地域よりあるが、

整備状況は。

都市建設課長 各校の方に

状況を聞き、防犯上どう

なのか現場調査をして

設置する方向で検討する。

本村キャラクター活用

護佐丸の活用 後の活用計画は。

企業立地・観光推進室長 商

標登録をし、広く村民、

村内事業者が無償でデータ

等を提供、特産品の差別化、

ブランド化に向け企業に

取り組ませているところ

です。今後中城村マス

コットンキャラクター取扱

規定を設け、内外にPR

活動していく考えです。



村道、農道の整備状況

仲宗根 哲 議員

議員 村道潮垣線の南浜公民館前(南浜十番地から六番地)から西原町境界線迄、今後村道の整備、拡張計画があるか何う。

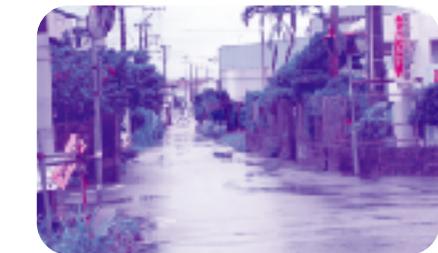
村長 優先的な部分か利用頻度等、情報を収集し担当課の話もききながら、今後検討していかなくてはならないと思っております。

都市建設課長 今後村道の拡張、拡張整備計画は、現段階では計画されておりません。土地改良地の排水問題もあるので予算のメニューがないか検討していく。安全確保は最重要課題と認識している。

議員 南浜地区は三十年余り整備されず、大雨の時には冠水し道幅も狭く、

歩行者や交通の面からも支障をきたしている。整備することによって、宅地に転用する箇所もでて、南浜地区が伸び、家が建つことによって税金のアップになり、自主財源もふえるのではないかと思っております。南浜地区に關しては、元氣な地域づくりの交付金で農道も整備され、また農地有効利用支援整備事業で農業用の排水路の整備が今年で大体終わると思いますが、西原町との調和がとれるようにぜひ整備をしていただきたい。関連して、この整備事業で和宇慶地区は二路線が整備、入札も終わっているが、当間地区で一農道が整備されない。入札できないと情報も入っているが、それはどういった理由か。

農林水産課長兼農業委員 会事務局長 農地有効利用支援整備事業というところで、今年当間地区、それから和宇慶地区ということで、三工区に分けて事業を執行しようと計画したが、当間土地改良区のほうからクレームがつき、理事会に諮って審議をした結果、当間地区については整備を保留してほし



南浜公民館まえから西原町境界線を臨む

いという申し出があり、今年度の事業執行については見送る状況になりました。

議員 当間地区の理事会からノーが出ればずっとやらないのか、今後村長の施政方針の農業振興に支障をきたし、農家の皆さんも早目に整備されることを望んでいるのではないかと思いますが、今後どう対処するのか何う。

村長 地域住民の方々、地権者の方々の承諾がないと我々も推し進めることができない。次の機会に地域の方々の考えが変わっていけば予算の関係はあるが対処をしていきたい。

発電所周辺の土地利用計画

宮 城 治 邦 議員



議員 久場地区の土地利用の見直しが遅々として進まない理由は。

都市建設課長 市街化編入について、県の公聴会も三月十九日に終了致しました。県はこの区域の市街化編入は準工業地域として進めていくことで、国と調整に入る予定であります。平成二二年度内に国と県の協議は済ませていくことになると思っています。

議員 久場地区の土地利用について、海岸線は農地としての適合性はあるか。

農林水産課長 当該地区の農地は、村が定める農業振興地域整備計画においても、農用地区域外でありまして、周辺の土地利用状況から見ても、市街地として発展する可能性のある農地で第二種農地と判断され、条件が整えば転用が可能な農地としての位置付になっております。

議員 久場地区の海浜はマリンスポーツ及びビスカイスポーツが盛んであり、海浜一体を開発して観光地としての位置付けはできないか。

企業立地・観光推進室長 観光地整備につきましては、中城村の地域特性を生かして地権者、地域住民及び事業者等の意見を十分に聴取し、秩序ある観光地づくりを検討していくことが重要と考えております。

基準において、土地の地目は現況で認定することが大原則であります。農地の一時転用期間三年間が終了しましたので、基準日一月一日においての現況を把握し、宅地で課税を致します。

議員 仮設ヤード(五七、五七〇㎡)全体が評価替えの対象となるのか。

税務課長 現在の事務所、駐車場等の工事関連敷地が評価替えの対象になります。

議員 仮設ヤードからの増税額の資産額はいくらか。

税務課長 納税義務者三十一名、筆数三八筆、三六六万三、〇〇〇円の増になります。

議員 納税者にとって負担水準の割合は気になるところですが、何%を考えているか。

税務課長 税額の倍率ですが平均で一八〇、六八倍ということになります。いかに、畑の評価が安いのかということですが。

仮設ヤードの課税評価替え

議員 仮設ヤード賃貸借時の説明に反して課税評価替えをする理由は。

税務課長 固定資産評価

基礎において、土地の地目は現況で認定することが大原則であります。農地の一時転用期間三年間が終了しましたので、基準日一月一日においての現況を把握し、宅地で課税を致します。

議員 仮設ヤード(五七、五七〇㎡)全体が評価替えの対象となるのか。

税務課長 現在の事務所、駐車場等の工事関連敷地が評価替えの対象になります。

議員 仮設ヤードからの増税額の資産額はいくらか。

税務課長 納税義務者三十一名、筆数三八筆、三六六万三、〇〇〇円の増になります。

議員 納税者にとって負担水準の割合は気になるところですが、何%を考えているか。

税務課長 税額の倍率ですが平均で一八〇、六八倍ということになります。いかに、畑の評価が安いのかということですが。



就学指導委員会

新垣博正 議員

護者に通知する。その後も保護者と協議を行い決定して行く。

病児の医療的ケア

議員 保育所、幼稚園、学校でのサポート体制について伺います。

教育総務課主幹 村内には現在のところ対象児は在籍しておりません。就学(園)前に可能な限り把握に努めて、保護者と協議を重ね必要であれば医療行為が可能な人の配置について検討していく。

発達障がい児支援

議員 琉球大学ボランティア活用への検討はどのようになっているか。

教育総務課主幹 発達障がい児支援には活用しておりませんが、相談室に通級している中学生三名にかかわり、そのほか教育実習の学生が学習支援のボランティアをしている。

子ども手当

議員 子ども一人につき月額、平成二十二年度は半額の一万三千円が支給予定されているが、扶養控除の廃止で負担増にな

る世帯もあり得ると試算されている指摘もあるが。福祉課長 例えば大学生のいる家庭で、十五歳以下の扶養がいらない世帯で扶養控除が廃止になれば負担増にもなります。控除の見直しを検討されれば幸いですが、単身世帯や子どものいない世帯、共働き世帯では影響はないと思います。子育てを社会全体で支える観点から経済的負担の軽減するシステムになっていると考えます。

防災対策

議員 南米チリ地震による津波の際の高齢者、障がい者等の災害弱者の避難誘導体制はどのようになっているか伺います。

村長 今回の津波に対し、本部長として避難勧告、避難指示はいつ、どこで出すのか、非常に判断に迷うところもありました。実際、その日対応でした。反省すべき点が多くあり、全庁挙げて災害弱者の誘導も含め検討していきます。

女性行政



安里ヨシ子 議員

改革を目指す。議員 村長は大変進んでいる。とり組みも目を見はるものがありますが、社会の隅々に残っている長い間に培われてきた男女間の不平等、おくれた意識は簡単に克服できるものではない。粘り強い努力の積み重ねが必要、施政方針で示すべきでないか。

る。早目の性教育が必要だと言われていますが教育委員はどのように考えていますか。教育総務主幹 中学校は保健の時間に指導がなされている。小学校では体の発育発達について指導、性教育は始めてない。規則正しい生活のできる子、スポーツに親しみ病気がかからない体力づくりができたかと考えています。

子宮頸がん予防ワクチン接種

議員 日本の二十代、三十代の女性に急増、年間一万五千人が罹患三千五百人が亡くなっている。予防できる唯一のガン、公費での接種を行政として検討していますか。

健康保険課長 ワクチンの接種でほぼ百パーセント抑える事ができると言われ、三回の接種で五万円程かかる、村として検討してまいります。議員 ワクチン接種の効果的なのが性行動を始める十代前半と言われている。

視覚障害者の安全確保

議員 関係者の切実な要求であります。盲人用信号機を村の主要箇所を設置してほしい。

住民生活課長 設置基準、村内の需要等調査し県公安委員会に要望していきたい。議員 視覚障害者の知る権利を保障するため村の広報が音で聞けるようできないか伺います。住民生活課長 役場内で協議の上実施できないか検討させていただきます。



南上原小学校(仮称)建設

新垣 健二 議員

議員 南上原小学校の新設に伴って、津覇小学校、中城小学校の児童数が何名減っていくのか、それと今は三十人学級と叫ばれているので、少人数学級で今後は対応できるのか。
教育総務課長 平成二十五年を推計しまして新しい南上原小学校が三十九人を見込んでおります。中城小学校が三五五人、現在は四九〇人、津覇小学校が二七二人、現在は四二三人です。少人数学級のことですが、国としてはまだ四十人が基準で、もし施設等が十分対応で

きるのであれば、村としましては、一、二年生についてはそういう方向性で取り組みを予定している。
議員 幼稚園も併設とすれば、今後通学バスをどのように活用していくのか。子供たちの安全確保のために存続も必要と思うが。

教育総務課長 存続についてはぜひ必要だという認識をもっています。
議員 基本設計、実施設計の入札の結果、村外の業者が落札をしたことになっている。地元の事業を営んでいる方々にとつては事業を維持すること自体、大変きびしい時代になっており、また今回の工事のようなものは、中城にとつては何十年に一回あるかないかの工事であり、行政が、できる範囲の中で何らかの形で積極的に地元業者育成に取り組んでいくことが行政の役目ではないかと思

います。今回の入札で地元業者に多くのチャンスを与える意味で分割発注をしなかった理由は、**教育総務課長** 敷地面積の関係もあり、プールは校舎と一体の建築を現在

のところ想定しています。また体育館も、どういう配置をすれば将来的に、望ましいのかということもあり、一括になった。

騒音対策

議員 施政方針の中で、米軍基地が所在しない市町村におきましても、不特定多数の住民が被害を受けていることは深刻な問題であり被害の現状を訴えるとともに、その対策を要望していきたいとあるが、本村においてどのようなことを要望していけるのか。

村長 沖縄県全体が危険負担を強いられているという認識のもとで声を上げていきたいと思っており、南上原小学校の建設につきましても予算をいただくことになっており、基地所在市町村でない我々が声を出すことによって、よりインパクトが出てくるのではないかとというのが私の持論です。

365日開会の議会導入

新垣 光栄 議員



を持ち、執行部に対する監視機能が強化され、二元代表制としての議会が行われていくことになると思います。執行部の協力もお願いいたします。

墓地行政

議員 現状と課題、具体的な取り組みを伺います。
住民生活課長 都市部のお墓の需要を満たすため、お墓のベッタタウン化、個人墓地と法律の整合性問題、環境保全、景観、土地利用計画の障害が生じていて、基本計画を策定中で将来的には、公営墓地の経営をしていきます。

議員 法的に、墓地は村が経営しなければならぬ。早急に墓地計画の理念をはっきりさせ、壮大な墓地基本計画のもと永久的な墓地公園を作っていただくことを提案します。

村道行政
議員 泊、伊金堂、北浜、南浜、和宇慶、伊集地域は、潮垣線を幹線として、交通量が大きく大変危険であり速度制限、重量規制

はできないか。
住民生活課長 宜野湾警察署を通じて、公安委員会に強く訴えていきたい。村の道路管理者が可能な標識等は今調整中です。
議員 泊浜原線の私有地の問題はどうか。

村長 解決に向けて、課題をしっかりと把握して臨んでいきたい。
第四次総合計画
議員 基本構想策定の住民参画や工程はどのようになっているか。

村長 行政懇談会を持ち生の声を聞いていきたい。
企画課長 一三年度は、基礎調査、一三年度に素案、策定委員会の議論、県との協議、審議会への諮問等を終えて、議会提案を考えている。
議員 基本計画まで議会決議にしたかどうか。
企画課長 検討と勉強をさせていただきたい。

議員 閉会中の期間をなくし三六五日、議会が主導的に、機動的に活動できる通年議会の導入について、村長の考えを。
村長 議員の皆さんと話し合いながら、通年議会の必要性を探っていきたい。
議員 地方分権の進展、財政難などに伴い、議会、議員の役割が重要になり、その価値が問われます。村民が参加し、しっかりと討議ができ、政策提言のできる議会を基本に添えて通年議会を導入すると、議会と村長は対等な権限



與那覇 朝 輝 議員

経費節減

議員 厳しい財政状況のなか、具体的にどのような取り組みを行っているか。

企画課長 FAXやパソコン画面など必要最小限のプリントをするようにしており、電話も行政ネットワークシステムを導入し、体育館や教育委員会等本庁社外とも内線で通話できるようにしている。又、パソコンも集中管理を行い使用料、システム管理委託料等運営費の節減を図っている。
総務課長 消耗品について

では、集中改革プランにも記載してありますが、平成十七年度予算ベースで対前年度比二十%削減を目標にしましたが結果は十四%減(五四六万六千円)となっており、翌十八年度は、十%の削減目標で十一%減(三四九万七千円)となっており、十九年度以降は、七%程度を削減目標に取り組んでいます。

比べ施設整備が遅れており、その促進のために基本設計を見直す。県と北中城、中城両村で公園施設整備推進協議を組織し、取組みを強化する。本村からは、企画、農林水産、生涯学習の各課と企業立地・観光推進室と当該が参加予定です。又、アドバイザーとして外部から有識者三名を推薦してあります。

議員 消耗品の削減については職員のコスト意識が重要であり、例えば年度末の現在、予算残はあっても不要不急な支出はやめるよう常に啓発すべきだと思いが。
副村長 去る三月の最終課長会議で全員にその旨の徹底を計っています。

議員 公園内にある中城ダムの水の有効利用について当局の見解は。
村長 二月に中城ダムの水利用組合設立総会があり、北中城村の新垣村長とともに、オブザーバー参加した。両村としては、水は大事な資源であり、村民が不利益をこうむらないよう十分に支援していきたい。

公園整備 議員 整備計画を見直すとの情報があるが、どのような情報があるのか。
都市建設課長 基本計画策定後十年以上も経過しており、又、用地買収に

都市計画課長 県の公園担当からも、現在ダムの水を利用して農家の皆さんは、そのまま継続して使用していいとの回答を得ている。



平成二十二年度 施政方針

仲 村 春 光 議員

議員 基本構想・基本計画の「第四次中城村国土利用計画」と見直しについて伺います。

村長 見直しについては地元の声を聞いて、どう反映させていくかが基本です。中城村は今、上地区は住宅地の推進、下地区は農業基盤整備を推進されている関係で地元の見解を聞くために行政懇談会も含めてこれから進めていきたい。
企画課長 第四次中城村総合計画の一環として変更される部分について、その基本構想に基づいて土地利用を遂行しなければ

ならないので、第三次に入っている計画と現状が符合しない部分があり、見直しをしていきたい。
議員 南上原井水原の土地利用計画も含めて見直しをしていく考えか。
村長 井水原については、利用価値の高い地域だと認識している。サッカースタジアムの件だけにこだわると言う意味でなく可能性を探って色々なスポーツ施設等も含めた公共施設等誘致できるものは積極的にやってきたい。

本年年度の重点施策

議員 観光の推進についての考えを伺います。

企業立地・観光推進室長 中城城跡の活用として「世界遺産登録十周年記念事業」を本年度は、中城護佐丸祭り事業を推進していきたい。城跡入口に特産品販売所を設置し中城村の特産品を展示販売する・商工会とタイアップして民家体験学習泊支援事業を立ち上げていきたい。

防災対策

議員 今年二月に沖繩にも津波警報がだされて本村でも避難勧告が発令された。予測できない災害の防災対策は十分できているか。

村長 今回の津波に関しては防災対策について反省すべき点が多かった。今後、自治体がどう啓蒙し対処していくか真剣に取り組んでいきたい。

議員 道路・河川・排水路の整備の中で、集落内の道路等、地域が協働で整備できる部分は資材提供を行う、とあるが条件や限度額等について伺います。

都市建設課長 中城村地域活動支援事業助成交付金要綱等に基づいて、対象団体として自治会、ポランティアNPO団体、その他、村長が認める団体に助成する。対象事業として、子供の遊び場の造成整備、地域のスポーツ広場、生活道、側溝、公民館等の花壇、生活環境の整備に交付する。限度額は年間五十万円です。



第四次中城村 国土利用計画

宮城重夫 議員

議員 施政方針で「第四次中城村国土利用計画」の見直しを検討していくと述べていますが、現在の農地から宅地等への転用等で制限の緩和策に付いてはどう考えていますか。

村長 上位法というのが法律にはありますので、その農地法も含めた部分でどう兼ね合いをつけていくか。規制緩和の可能性を我々の知恵

でどう広げていくか、自分の財産は自分で自由に使えるのが一番いいわけで、そのへんをどうかなえていくかが、私どもの仕事だと思います。

農林水産業の振興

議員 中城の農業振興をどう考えていますか。また生産者目らが参加し、つくる喜び、売る喜びの実感できる農業振興策は考えられないか。

村長 その振興については、沖縄電力の冷熱を農業への利用、琉球大学との頭脳連携もありますし、今年度で仕掛けてみようと思ってるのが、字奥間がやっております日曜市のような、月に一回か、二回その部分での広がり可能性から始め、その後は箱物につなげたらと思っています。

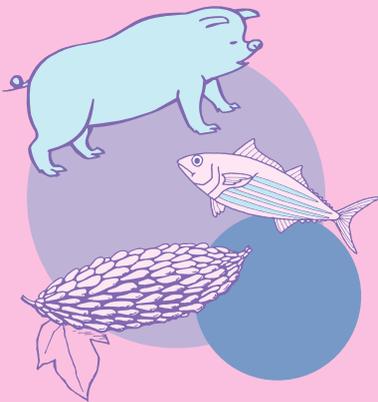
社会福祉の充実

議員 地域ふれあい事業で地元ボランティアから「ふれあい事業」に社協職員の参加を希望する声がありますが、村当局から社協へ協力要請はできないか。

健康保険課長 社会福祉協議会としては、要請がございましたら協力をしていきたいとお話をいただいておりますので、村当局としても地域からの要請があれば、お願いしていきます。



議員・職員研修視察



▶平成二二年二月二六日(金)
全議員と事務局職員で
名護市「県農業大学校」
今帰仁村「県畜産研究センター」
本部町「県栽培漁業センター」
を視察した。



浜漁港



中城城跡

▶平成二二年三月十二日(金)
村内視察(浜漁港・中城城跡・
南上原糸蒲公園)
平成二二年度事業予定箇所を
全議員で視察した。

自治功労表彰者 (全国町村議会議長会・県町村議会議長会)



前列左から：県表彰者 喜舎場健司・新垣健二・知念政光・安里ヨシ子 全国表彰者 比嘉明典・仲村春光・宮城重夫



四月一日付で、前職の仲村祥子さんの後任として臨時職員採用で議会事務局に配置になりました、上原麻子です。一生懸命頑張りますので、ご指導よろしくお願ひ致します。



新事務局員紹介

議会事務局 上原 麻子



議会だよりの編集作業をしている委員

新しい年度がスタートして一ヶ月が過ぎましたが、村民の皆様いかがお過ごしでしょうか。「議会だより」二十三号をお届けします。私たちが、日々の生活の中でさりげなく使っているこの「年度」という言い方が、どのようにして生まれ、どうして四月からになったのか調べてみました。暦の上では一年の始まりは一月ですが、これとは別に四月に始まるため三月に終わる「年度」又は、予算を執行するための一定期間の呼び方に「会計年度」があります。明治のはじめ頃に何度か変更され、現在使われている政府機関の会計年度は明治十九年（一九八六年）に始まり二四年の歴史があります。かつての日本は主たる産業が稲作農業でしたから行政機関が税金として徴収する主な財源も当然農業で得た収入に課税する方式がとられました。収穫期が秋でしたから米が現金かされてから徴収するのが一番無理のない姿であり、収入が確定した段階で次の「年度」の予算を定めて行くにも都合が良かったようです。
(新垣 博正)

編集後記

村民の皆様の議会傍聴を歓迎します

次の定例議会は6月の下旬予定です。